

新刊紹介

Book Review

書名：塩野香料株式会社 200年の歩み

発行：塩野香料株式会社



塩野香料株式会社
会社が2008年
(平成20年)1
月に、創業200
周年を迎えたの
を機に「塩野香
料株式会社
200年の歩み」
が、このほど刊
行された。200

年史編集委員会のあとがきによると、①06年に200年史の作成を決定し膨大な資料をまとめるのに6年を経過した、②創業して200年、香料の扱いに転じて100年、会社を設立してから80年の歴史の紹介に努めた、③近代における技術的営業の流れを現代にいたるまでを歴史的記録にとどめた、など編纂の努力を述べている。

<本編第一部>前史：丁稚奉公から別家独立へ、第1章：薬種中買業を創業、第2章：国産初のエッセンスを開発、第3章：塩野香料株式会社の設立、第4章：香料メーカーとしての地位を確立、第5章：戦争の時代

<本編第二部>第6章：戦後からの出発、第7章：積極的な事業の展開、第8章：業務の拡大へ向けた動き、第9章：時代に変化の中で、第10章：「創業200年」の先へ、資料編で構成されている。

口絵に大阪道修町に1808年開業したころの社屋の全景、1921年国産エッセンス発売のカタログ、塩野社長挨拶、歴代社長と現経営陣の紹介、工場・研究所を紹介する。

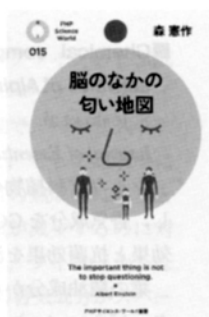
A4判カラー、167頁、非売品（問合せ先：Tel. 06-6231-3013）

書名：脳のなかの匂い地図

著者：森憲作

発行：PHP研究所（2010.3）

日本を代表する嗅覚研究者が書き下ろす「香りを感じる脳のメカニズムの謎」。日常生活での嗅覚の役割から、におい分子受容体から脳へのおい情報の入口、脳のなかのにおい地図、においを伝える神経回路まで最新のものを含めた研究発表を引きながら、わかりやすい図とともに



と情報に翻訳する機構の解明は楽しみで、においと意欲と情動の章に掲載された「嗅覚中枢神経経路の想像図」が、事実としていつの日か定着していったとき、どんな図になっているのだろうか。

「はじめに」のなかで著者は「おそらく日本で初めて一般書に「脳」と「匂い」の二文字を入れる今日の時を迎えた」との心意気を記している。研究のおもしろさは「嗅覚神経系研究の進歩」と聞いて尻込みする人にも伝わるに違いない。PHPサイエンス・ワールド新書、800円（税別）、172頁（問い合わせ先：03-3239-6298）

書名：食品香粧学入門

編：東京農業大学生物産業学部食品香粧学科

発行：東京農業大学出版会（2010.4）

この4月にオホーツクに



誕生した東京農業大学生物産業学部食品香粧学科の航海図ともいえる論文集。食品科学(6)、香粧品科学(5)、食品と香粧品のこれから：北海道の香り文化とこれからの食品・香粧品産業、食品香粧学科のチャレンジ：学科の目指す食品香粧学の研究と産業との関わりについて。

ハッカ、ラベンダー、青ジソ、ハマナスなどの香粧品原料をもつ北海道で、豊かな研究生活が期待される。

A4判、1,000円（税別）、65頁（問い合わせ先：03-5477-2666）

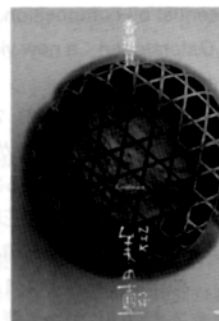
に説明する。ヒトがにおいを評価するということや、においと意欲と情動の章にたどりつくと、においの世界がさらに一步迫ってくる。

においを行動

書名：香道具

編：NHK「美の壺」制作班

発行：NHK出版（2010.2）



香りは嗅覚で楽しむものだが、眼にもご馳走を与えることができる。NHK教育の「美の壺」で放映された内容を元に、香炉、香木の包みと

銀葉を入れた巾着袋である志野袋、源氏香や競馬香などの香遊びに使われるものなど、香道具の数々が堪能できる。季節や行事、また和歌の世界を反映した、意匠の由来にも触れられる。残り香や、三本の脚が示す神聖なものとしての香炉の形など、ツボを押さえたコラムが挟み込まれ、和の香り文化や歴史の紹介が繰り上げられる。

本だけで物足りなくなり、しかし、買うほどの贅沢が許されないならば、春には根津美術館の展示で「香合百撰」(終了)を楽しみ、洋にも目を向け秋の東京都庭園美術館の「きらめく装いの美 香水瓶の世界」(9月18日(土)～11月28日(日))を待つ、といったところだろうか。

A5判、950円（税別）、70頁（問い合わせ先：03-3780-3318）

書名：香（かおり）をたのしむ

著者：一条真也

発行：現代書林（2010.1）



茶、花、灯に続く、日本人の癒しシリーズ第4弾では、香（かおり）を取り上げる。「ハートフルフレグランスのすずめ」と副題に

ある通り、心豊かに日々をすごすための香りとの付き合い方を考える。

著者と日本香堂の小仲正克社長、香十の稲坂良弘社長との各対談も収録。

四六判、1,300円（税別）、125頁（問い合わせ先：03-3205-8384）（編集部）